

メカトロニクス制御技術委員会 (MEC)

## 第6回メカトロニクス制御技術委員会

**【日時】** : 2014年5月28日(水曜日) 14:00 - 17:30

**【会場】** : 芝浦工業大学 芝浦キャンパス6階 608室

〒108-8548 東京都港区芝浦3-9-14

### 【出席者】:

委員長: 島田 明(芝浦工大)

一号委員: 熱海武憲(HGST), 池田英俊(三菱電機), 岩崎 誠(名工大), 内村 裕(芝浦工大), 梅村 敦史(北見工大), 桂誠一郎(慶應大), 鈴木昌和(東海大), 辻俊明(埼玉大), 滑川 徹(慶應大), 平田光男(宇都宮大), 藤本博志(東大), 山口 高司(リコー), 涌井伸二(農工大)

二号委員: 大西公平(慶應大), 大石 潔(長岡技科大), 奥山 淳(東海大), 藤本康孝(横国大)

幹事: 関 健太(名工大), 名取賢二(千葉大)

幹事補佐: 佐藤 基(東洋電機製造)

オブザーバ: 南方英明(千葉工大)

### 【配布資料】:

- 6-0 第6回メカトロニクス制御技術委員会 議事次第
- 6-1 第5回メカトロニクス制御技術委員会 議事録(案)
- 6-2-1 メカトロニクス制御技術委員会 名簿(2014年5月)
- 6-2-2 メカトロニクス制御技術委員会 メーリングリスト
- 6-3-1 平成26年度 研究会活動補助金計算書
- 6-3-2 MEC 研究活動補助金および産業応用フォーラム活動資金につきまして
- 6-4-1 技術委員会の重点取り組み内容
- 6-4-2 英文論文誌への投稿推薦に関して原稿作成費補助のお願い
- 6-4-3 技術委員会の2013年度重点取り組み(メカトロニクス制御技術委員会)
- 6-5 第1回 SAMCON2015 実行委員会 議事録(案)
- 6-6 2014年度 MEC 担当表(案)
- 6-7 なし
- 6-8-1 新産業基盤技術としてのモーションコントロールに関する協同研究委員会 活動報告書
- 6-8-2 ナノスケールサーボのための革新的な制御技術協同研究委員会 活動報告
- 6-8-3 生体運動制御協同研究委員会 活動報告
- 6-8-4 実世界ハプティクス協同研究委員会 活動報告

## 【議事】

### 1. 前回議事録（案）確認 資料 6-1

関幹事より、第5回メカトロニクス制御技術委員会の議事録（案）の内容についての説明があり、その確認を行った。議事録（案）の通り承認した。

### 2. 名簿およびメーリングリストの確認 資料 6-2-1, 6-2-2

委員会名簿及びメーリングリストの確認を行った。

- ・ 5/27（火）付で辻委員がオブザーバになっていた。運営委員会に申請を忘れていたので至急申請する必要がある

### 3. 活動補助金計算書について 資料 6-3-1

名取幹事より、活動補助金計算書について説明があった。

- ・ 27,000 円なので最低補助額は超えているが、3月の研究会がなくなるため最低補助額になってしまう恐れがある。何か対策を考える必要がある。

### 4. 研究活動補助金および産業応用フォーラム活動資金について 資料 6-3-2

名取幹事より、研究活動補助金および産業応用フォーラム活動資金について説明があった。

### 5. 技術委員会の重点取り組み内容について 資料 6-4-1, 6-4-2, 6-4-3

島田委員長より、本件について大山研究調査運営委員長から役員会に報告した内容が紹介された。

- ・ 企業からの良い発表を重視するという点について、戦略はあるが戦術はないという感じを受ける。実際に発表する人の上司を説得しないと意味がないとの意見が出た。
- ・ 人脈マップについては、研究会に参加した企業の人をつなげていけばよく、有用であると考えられるとの意見が出た。

島田委員長より、英文誌への投稿推薦について説明がなされた。

島田委員長より、当委員会から昨年度に提出した重点取り組みについて説明がなされた。

島田委員長より、本年度の重点取り組み（案）について説明がなされた。

- ・ SAOMCON の開催により、英文誌への投稿を増やすことができる。
- ・ 産業界との連携についての記述が少ないとの意見が出た。
- ・ 人脈マップについては研究会で名刺などをいただいて情報を収集することが可能であるとの意見が出た。また、企業名と名前とメールアドレスくらいならそんなにレベルの高い個人情報にはならないのではないかと指摘があった。
- ・ 技術委員会の HP については電気学会のシステムが変わったので難航している。
- ・ SAMCON や HP 立ち上げの作業が必要となるため、一号委員を追加したらどうかとの意見が出た。
- ・ 内村委員が2号委員になるのに伴いもう一名1号委員を追加する必要がある。

### 6. 今年度の担当（案）について 資料 6-6

島田委員長より、今年度の担当案について説明があった。和文論文誌担当として岩崎委員は主査を終えたので今年度は担当とはならないこと、また藤本康孝委員の代わりに熱海委員(D2 幹事)が担当となることが報告された。

- ・ 関幹事と名取幹事の他に、HP を担当可能な幹事補佐が必要であるとの意見が出た。

#### 7. SAMCON について 資料 6-5

資料を参照し、現在の準備状況について確認をおこなった。

#### 8. 産業応用フォーラムについて

辻委員より、医療福祉関係のフォーラムを秋に開催予定であるとの報告があった。「藤本康孝委員、下野 IIC 幹事、辻委員+ホンダの方、を中心とする企業向けのバージョン」と「理学療法士さんなどを幅広く集めた医工連携に関するバージョン（医療系の人向け）」の2パターンについて検討している。予定としては、6月前半には講演者を決定し依頼、7月初めに書類提出、9月号ニュースレターに掲載、10月開催という流れである。議論の結果、ひとまず「理学療法士さんなどを幅広く集めた医工連携に関するバージョン（医療系の人向け）」について検討することとなった。

#### 9. 傘下委員会からの活動報告

##### ○ 新産業基盤技術としてのモーションコントロールに関する(協)委員会 資料 6-8-1

- ・ 第10回委員会を3月10日に芝浦工業大学で開催した。
- ・ 第11回委員会を4月16日にアクティブリンク(株)で開催し、1件の講演と企業見学を行った。
- ・ 第12回委員会を7月9日にトヨタ自動車(株)東京本社で開催予定である。
- ・ 次期委員会は弓場井一裕先生(三重大学)を委員長とし、2014年10月に設置予定である。
- ・ 解散に伴う技術報告書は2014年9月に発行予定である。
- ・ AMC2014(Yokohama)で多数のSSに協力した。
- ・ IPEC2014(Hiroshima)で2件のOSを企画した。
- ・ ISIE2014(Istanbul)で1件のSSを企画している。
- ・ IECON2014(Dallas)で1件のSSを提案している。

##### ○ ナノスケールサーボのための革新的な制御技術(協)委員会 資料 6-8-2

- ・ 第8回委員会を3月11日に芝浦工業大学で開催した。
- ・ 第9回委員会を5月30日に開催予定である。
- ・ 第10回委員会を7月中に開催予定である。
- ・ 平成26年部門大会において、「ナノスケールサーボ制御の現状と課題」と題するシンポジウム(発表件数5件)を8月27日に開催予定である。
- ・ 「ナノスケールサーボのための制御技術」と題するメカトロニクス制御研究会を9月1日に開催予定である。

- ・ 解散に伴う技術報告書の発刊準備を進めている。
  - ・ AMC2014(Yokohama)において SS を提案し、9 件の発表があった。
- 生体運動制御（協）委員会 資料 6-8-3
- ・ 第 5 回委員会を 3 月 29 日に開催した。
  - ・ 第 6 回委員会を 6 月 13 日に慶應義塾大学新川崎 K2 タウンキャンパスで開催予定である。
  - ・ 平成 26 年部門大会において、「生体の運動解析とモーシヨンコントロールへの展開」と題するシンポジウム（発表件数 5 件）を開催予定である。
  - ・ 特定非営利法人生体機構制御研究会、公益財団法人ふくしま海洋科学館、学校法人金沢工業大学生体機構制御技術研究所との共催で公開講座「二関節筋による生体力学・生体工学革命」を 3 月 29 日に実施し、60 名程度の参加があった。
  - ・ SAMCON2015 における SS を企画中である。
- 実世界ハプティクス（協）委員会 資料 6-8-4
- ・ 第 9 回委員会を 3 月 10 日に芝浦工業大学で開催した。
  - ・ 第 10 回委員会を 3 月 21 日にメルパルク松山(松山市)で開催し、1 件の講演を行った。
  - ・ 第 11 回委員会を 5 月 21 日に広島国際会議場（広島市）で開催した。
  - ・ 第 12 回委員会を 7 月 26 日に長岡技術科学大学で開催予定である。
  - ・ 解散に伴う技術報告書を準備中である。
  - ・ 「実世界ハプティクス」と題したメカトロニクス制御研究会を 7 月 26 日に長岡技術科学大学で開催予定である。
  - ・ 平成 26 年電気学会全国大会において 3 月 20 日にシンポジウム(発表数 6 件)を行った。
  - ・ AMC2014(Yokohama)で SS を提案し、12 件の発表があった。
  - ・ ISIE2014(Istanbul)で 1 件の SS を企画している。
  - ・ 第 32 回日本ロボット学会学術講演会において「モーシヨンコントロールとハプティクス」と題する OS を提案している。
  - ・ IEEE Transactions on Industrial Electronics において、大西委員がゲストエディタである特集号「Advances in Disturbance/Uncertainty Estimation and Attenuation」が企画されている。

<次回予定について>

次回は 9 月 22 日の週で日程調整を行うこととなった。

以上